岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川　沼田川水系　栃木川　通常砂防事業に伴う設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	B-47-3	調査位置	広島県東広島市河内町	北緯	34° 30' 42.8356"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 5月25日～ 令和3年 5月27日	東経	132° 48' 20.6327"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 262.13m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	45° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型 / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
1	260.63	1.50	礫混じり砂		暗褐灰						
2				風化花崗岩	褐灰	w3 / w4 / w3	h2 / h3 / h2	C / D / C	IV	c / d / c	CL / D / D
3						w4 / w3	h3 / h2	D / C	V / IV	d / c	D / D
						w2	h2	B	III / IV	b	CL
4	257.53	4.60				w3 / w2	h3 / h2	C / B	V / IV	d / b	D / CL
						w4	h4	D	V	d	D
5				花崗岩	暗褐灰	w3	h3	C		c	CL
6						w2	h2	B	III	b	
7	255.13	7.00									

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

孔内水位／測定月日	記事
5/26 無し	砂は細砂主体。φ0.5～5cm程度の角礫を含む。少量の細粒分を含み，植物の根が混入する。
5/27 3.70	粗粒部と細粒部を混在する花崗岩。全体的にDM級を呈するが，硬質部と軟質部を混在し，GL-1.50～1.75m，2.80～3.65m，3.70～3.90mではCL級，18.5～2.00m，2.60～2.80m間ではDH級を呈する。亀裂が多く発達しており，軟質部は組織明瞭なマサ状を呈し指圧で崩れる。硬質部はハンマーの軽打で金属音がする。
5/28 4.80	粗粒部と細粒部を混在する花崗岩。CL級。GL-4.60～5.40m間は風化が進みハンマーの軽打で崩れる。GL-5.40m以深では硬質となりハンマーの軽打で金属音がする。

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
14	1.15	14		
	1.45	300		
28	2.15	28		
	2.45	300		
50以上	3.00	50	30	
	3.03	30		
33	4.15	33		
	4.45	300		
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.00	貫入不能		
50以上	7.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
5/25				0	0	0	W1/0	0
	50.00	66/ケーシング	打込み打込みビット	200	300			
				150	300			
5/26			W/D	50	300	0	W2/3	2
	25.00	66	W/D	150	300			
5/27								